しあわせ Happiness

vol.499
2012年1月

2012 国際協同組合年

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

香取神宮（香取市）

●ひとりで悩んでいませんか？　くらし何でも無料相談
ちばライフサポートセンター
0120-53-4141　メール info@chiba-lsc.jp

2012年　年頭挨拶

震災を乗り越え、連帯と協同・支え合いの社会を創ろう

(社)千葉県労働者福祉協議会　会長　黒河　悟

年頭にあたり、千葉県労働者福祉協議会を代表してご挨拶を申し上げます。

昨年の通常総会で前小泉会長から労福協会長の職を引き継いで半年有余が過ぎましたが、多くの課題を抱えている中この間お支えを頂きました関係団体・関係者の皆さまに心より感謝申し上げますと共に、本年も一層のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

さて、昨年は何と言っても3月11日に発生した東日本大震災という、地震・津波・原発事故という未曾有の複合的災害とそれ以降の復旧・復興支援の取り組み抜きには語れません。大きな災害を被った東北三県はもとより、この千葉県も津波や液状化などにより各地で被害を受けました。千葉県労福協は、千葉県や県社会福祉協議会を初めとした諸団体と地震発生直後から連携を密にして、まずは地元千葉の被災地支援活動を、そしてその後は東北3県への支援活動を進めましたが、構成団体である連合千葉、中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部、千葉県生協連など協力頂きました皆さまに改めて御礼申し上げます。

この大震災に際しては、これまで置き去りにされてきた感のあった「支え合いやきずな」そして労福協の理念でもある「連帯や協同」と言うことが見直され、大切なものと広く社会や国民に認識されたと思います。事実、被災地に於いては、今回の震災で労働組合や協同組合が極めて有効で大きな役割を発揮し、存在感を現地で示しました。大量のカンパ・義援金の拠出はもちろんのこと、救援物資の搬送・供給や恒常的・継続的なボランティアの派遣、協同組合による仕事興し、また全労済による共済の給付や労金による融資の仕組みが多くの人々に安心や勇気を与えたのは明らかです。

奇しくも本年は、国連が定める「国際協同組合年」に当たりますが、今日の経済・社会が混迷する状況にあるからこそ私たち労働者福祉協議会はもちろんのこと労働組合や協同組合が、「共助」を掲げて役割を果たして行かなくてはなりません。

このような状況の中で昨年7月には、全ての働く人・生活者の拠り所となることをめざして、千葉県労福協が支援する「ちばライフサポートセンター」がリニューアルオープンしました。これは、事務所と電話を構え相談員を配置した上で、行政や弁護士など専門家の方々とのネットワークにより相談者を支えていこうとするものですが、この半年で延べ169件の相談が寄せられるなど、大きな役割を果たしつつあります。政府のモデル事業として野田市が指定された「パーソナル・サポート事業」が昨年の4月から実施されていますが、これも相談者への寄り添い型支援事業であり、連携して活動の強化を図りたいと思います。

このように、千葉県労福協の地域で果たす役割は大きくなっていますが、その活動の拠点となっている労働者福祉センターは築40年を越え、施設の老朽化と耐震化の必要性から建て替えが大きな課題となっていました。この間、会館特別委員会や理事会で様々な角度から会館の補強・改修や新築についての検討を行ってきましたが、費用の面からは、労福協単独ではその実施が極めて困難であるとの、とりまとめを行なわざるをえませんでした。以降労働団体や福祉事業団体などでの論議をお願いしているところです。

昨年の通常総会の就任のご挨拶で、私は会館問題について、「労働組合や福祉団体にとっての会館の必要性、会館利用者への安全の確保、過度な負担を後世代に残さない」という三点の考え方をベースに検討を進めたいと申し上げましたが、費用面から困難な実態を率直に皆さまに報告をした上で、更に関係する皆さまにもご論議をいただき、可能な道を最後まで探って参りたいと思います。労福協としての最終的な方向性の結論は本年5月の通常総会に諮ることとしておりますが、引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆さま方の本年のご多幸とご活躍を心より祈念し年頭のご挨拶とします。

2012年 年頭挨拶

労働者福祉中央協議会 会長 古賀 伸明

新年にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年の未曾有の災難を通じて、私たちはこれまでの社会のあり方や生き方について深く考えさせられ、「助け合い、支え合い」「人と人とのつながり」の大切さを学びました。この教訓を踏まえ、労働組合と協同組合の総力をあげて、絆・助け合いの輪を復興・再生に、そして日本社会全体の創り直しにつなげていかなくてはなりません。

いよいよ国連が宣言した国際協同組合年が幕を開けます。内外ともに協同組合の存在が期待されている今、これを契機に「共助」の組織である協同組合も、それを超えた「公益」や連帯経済の担い手としての新たな姿を示し、社会的存在感や価値、力量をさらに高めていくことが必要です。

今や日本は貧困や格差が広がり、自殺者も13年連続で3万人を超え、社会そのものの持続性が問われています。経済成長は人間の幸せのためにあり、手段であって目的ではありません。「世界じゅうの人たちが幸せにならなければ個人の幸せはない」（詩人・宮沢賢治）、「一部の貧困は全体の繁栄にとって危険である」（ILOフィラデルフィア宣言1944年）という言葉を改めて噛みしめたいと思います。

私たちは今、好むと好まざるとにかかわらず、大きな変革期を生きています。従来の延長線上ではなくて、私たち自身が新しいコンセプトをつくっていく時代を迎えているのです。新しい仕組みやシステムをつくることは、一面どこかに痛みを伴う可能性もありますが、それを乗り越えていかなければなりません。

中央労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざし、これからも幅広いネットワークとの協働で、社会的連帯を深める運動や政策実現、ライフサポート活動の充実、協同事業・労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでいきます。

新しい時代のステージをみずからの手で創造していくことが私たちの使命であるという気概をもって、この1年間ともに頑張りましょう。

本年もよろしくお願いします

会長 黒河 悟
副会長 小泉 津都武
副会長 細根 洋
副会長 丸山 芳高
常務理事 小柳 光廣
理事 牧野 昌子
〃 日高 英彦
〃 石田 勉
〃 椎名 衛
〃 佐久間 靖夫
〃 三上 光明
〃 小川 悟
〃 櫻井 晶樹
〃 富田 信夫
監事 野田 泰造
〃 榎澤 淳一郎
〃 松本 博
顧問 栗田 忠宏
〃 岡田 勝
事務局長 宮崎 直樹
職員 岩上 美佐子
〃 近藤 雅美
〃 鈴木 明日香

千葉県労福協役職員一同

震災からの復興と日本経済の再生に挑戦！

連合千葉
会長　黒河　悟

新年にあたりご挨拶申し上げます。皆さまにとって、本年がより良い年でありますようご祈念申し上げます。昨年日本は、東日本大震災に見舞われ、大変な1年となりました。被災地は復興・再生に向けて立ち上がりつつありますが、私たちは引き続き被災地・被災者への支援を、労福協の皆さんとも協力をして進めて参りたいと思います。

この震災をきっかけに、日本社会は「支え合い・連帯・絆」という価値観の大切さに気づきました。連合が今、社会と共有し実現しようとしている「働くことを軸とする安心社会」の考えもその延長線上にありますし、その理念に立って持続可能な社会保障制度の再構築を初め「働くもののためのセーフティネット」が整備されなくてはなりません。連合は、本年もその実現のため全力を尽くして参ります。

一方、アメリカ経済の悪化やヨーロッパにおける債務危機・金融危機は雇用悪化に直結しています。私たちの足下でも、企業の売却や合併、海外への生産拠点の移動などの動きが激しくなり、雇用や生活を直撃しつつあります。私たちは、3年前の世界同時金融危機の際、それまで世界を席巻した「効率優先・自己責任」の市場原理主義が破綻したものと指摘しましたが、それに代わる政策のパラダイムの転換は未だなされてないのが現実です。今年を、未曾有の災害からの復興・再生と日本と世界経済の再生という二つの大きな課題に挑戦する1年にしていきたいと思います。また、本年は「国際協同組合年」です。共助を軸とした新しい社会作りに向け、共に頑張りましょう。

十年の節目を越え新たなスタートを切る時期！

中央労働金庫千葉県本部
本部長　小泉　津都武

新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、東日本太平洋沖で発生した巨大地震により、多くの方々が被害を受け、かつて、私たちが経験したことのない未曾有の災害となりました。

被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧と復興を祈願したいと存じます。

さて、昨年の四月には、中央労働金庫が発足して十年目の節目の年を迎えました。この間、総預金も五兆円を有する金融機関として発展し、財務基盤の強化とともに、合併初期の目的を概ね達成することができました。これも、ひとえに会員や皆様のご支援とご協力の賜物であり深く感謝申し上げます。

このように大きく育った中央労働金庫にとって、今年は、十年間の歩みを振り返りつつ、新たなスタートを切る時期ともなり、福祉金融機関として更なる飛躍を目指し、力強い一歩を踏み出したいと思います。

ところで、国内の雇用情勢は、円高やヨーロッパの信用不安等による景気見通しの不安定な要素が重なり厳しい状況が続いていますが、労金を支えて頂いている会員やその組合員への影響が懸念されます。

しかし、このようなときこそ、私たち労金が、生活改善に向けた相談機能の充実を図り、会員と一緒になって組合員や勤労者の皆さんを支援する『労金運動』の推進を強化したいと思います。

今年こそ、穏やかな年になるよう願いますが、たとえ、どのような困難な局面に遭遇しても決して諦めず、『お互いが支えあって生きる社会』を目指し、共に頑張って行きたいと思います。

どうぞ、本年もよろしくお願い致します。

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり

全労済千葉県本部
本部長　細根　洋

旧年中は大変お世話になり、有り難うございました。

昨年の東日本大震災で被災されました皆様に対しまして、あらためてお悔みとお見舞いを申し上げます。かさねて一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

全労済は東日本大震災発生後、ただちに対策本部を立ち上げると共に、組合員の皆さまのご要請に応えるために対応をしてまいりました。千葉県本部では昨年末現在で、およそ6，200件、42億円の共済金・お見舞い金をお支払してまいりました。

しかし想定をはるかに超えた地震や津波の被害により現在も現場調査が続いていますが、被災された組合員の皆さまへの対応を最優先させて頂いております。またその後の台風15号による被害も発生しましたが、組合員の皆さまへの対応は、ほぼ終了致しました。全労済は引き続き「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念にもとづき、東日本大震災の被災者と被災地の支援を続けてまいります。

全労済は今年の「国際協同組合年」を契機として、「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合間の連携を進め、保障の生協として、組合員の皆さんをはじめ協力団体、さらに広く社会に向けて、全労済として協同組合の社会的役割の認知度を高めていくため、役職員が一丸となって取組みを進めていきます。本年も労済運動・共済事業への引き続きのご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「国際協同組合年」にふさわしい成長の年に

千葉県生活協同組合連合会
会長理事　田井修司

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

日本生協連は、昨年6月の全国総会で「日本の生協の2020年ビジョン」を決定いたしました。ビジョンの内容を「私たちは、人と人とがつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざします」というメッセージに端的に表現しています。

昨年3月の東日本大震災では、千葉県をはじめ全国の生協が全力で被災地支援に取り組みました。2012年は、そこでの経験とビジョンの精神に立って、生協に寄せられた期待に応えるべく、毎日の暮らしを応援し豊かにする生協として一層成長していく年にしたいと考えています。

被災地の復興支援や放射能問題は引き続き優先課題ですが、消費者問題、食の安全、環境、福祉、平和などの社会的な課題についても多くの組合員が参加できる生協らしい取り組みを進めていく所存です。

2012年は国連が定めた「国際協同組合年」でもあります。協同組合の理念と価値を広く社会にアピールする取り組みも関係団体の皆様と共に進めていく予定です。また、厳しい経済環境が続くことが予想される中、事業経営の改革強化にも不断に取り組んでいくことが求められています。

こうした課題に、役職員、組合員が一体となって取り組んでいく決意を申し上げ、関係各位の引き続くご支援ご協力を心からお願いして新年の挨拶とさせていただきます。

つながり、支え合い、寄り添う活動を進めます!!

ちばライフサポートセンター
会長　川嶋　正和

ちばライフサポートセンターも、「くらし何でも相談」事業を開始してから今年で5年目を迎えました。昨年7月、今までのFAX・メール受付からフリーダイヤルによる電話受付に見直し、悩み困った皆さんがより相談しやすいようにリニューアルを行いました。

この間、電話相談員として石田さん（県労福協前常務理事）、小竹さん（中央労福協）の力添えやネットワーク先の専門家の皆様のご協力により、月1回の予約面談相談を含めて相談対応を行ってきました。改めてご理解ご協力を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

電話受付に変更以降、相談件数が急増し、その相談内容は多岐にわたり、深刻で幾つかの要因が重なる複合した相談が相次ぎました。底割れした社会、加えて東日本大震災が生活に与えた大きさが反映されているものと受け止めています。

新しい年も生活者、勤労者を取り巻く情勢は引き続き厳しさが続くものと想定されますが、東日本大震災が私たちに教えてくれた「人と人とのつながり」「助け合い、支え合う」ことの大切さを、「絆」のある社会を、「くらし何でも相談」事業をとおしながら一歩一歩築いていけたらと思っているところです。

「くらし何でも相談」事業は多くの皆様との連携・連帯なくしては成し得ない事業です。この一年、労福協の「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の理念のもとに、構成団体やネットワーク先の皆様との「絆」を一層強め、悩み困った生活者・勤労者の「止まり木」となり「寄り添う」活動を展開していきます。一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって新たな一年がより良い年となりますよう祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

会館入居団体及び支援団体

連合千葉
事務局長　鈴木　光

NPO法人
千葉県介護支援専門員協議会
理事長　水野谷　繁

公益社団法人
認知症の人と家族の会
千葉県支部代表　植松　多恵子

NPO法人子育て支援グループ
「ハミングちば」
理事長　野中　一民

JAM東京千葉
執行委員長　白川　祐臣

自治労千葉県本部
執行委員長　椎名　衛

ブレーメン星数支援センター
理事表　國生　美南子

中央労働金庫千葉南支店
支店長　狩野　恭護

UIゼンセン同盟千葉県支部
支部長　横田　泰文

交通労連千葉県交通運輸労働組合
執行委員長　櫛田　勇

連合千葉・中央地域協議会
議長　髙橋　邦芳

有限会社　きせい
代表取締役　喜勢　達子

メロウリンク労働組合
執行委員長　金児　勝

NPO法人
地域創造ネットワークちば
理事長　岡田　勝

NPO法人
VAICコミュニティケア研究所
理事長　佐々部　憲子

社会福祉法人
千葉いのちの電話
理事長　日下　忠文

協同労働の
協同組合法制化ネットワークちば
代表　杉本　恵子

生活再生支援センター
代表　池田　徹
庄　妙子

消費者行政充実ネットワークちば
事務局長　拝師　徳彦

住民参加型の地域福祉実践を！

NPO法人　子育て支援グループ「ハミングちば」
理事長　野中一民

新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、千葉県労働者福祉協議会をはじめ連合千葉を中心とする労働組合の皆様に力強いご支援を頂いておりますことに、心からお礼を申し上げます。

「ハミングちば」は子育て支援を目的に、労福協が市民との協同で設立した組織です。２００２年７月、18名の会員でスタートし、現在10年目の活動に入っております。直近３年間の活動状況を月平均でみてみますと活動件数50件、活動時間90時間位で推移しております。活動の原点はボランティアを通じて助け合うというお助け会員の皆さんの気持ちです。10年が経過するなかで地域に根ざした草の根活動として定着しつつあると思っております。

本年度の事業計画で、千葉市美浜区を中心に活動の充実と活動領域の広がりをめざしながら、子育て世代を対象に子育て支援を中心とした事業を行い、また活動への参画者を募ることによって、公的サービスだけでは埋められない隙間にきめ細かく対応できる、住民参加型の地域福祉を実践することを基本指針として確認しました。現在、計画にそって具体的な課題解決をめざし活動しております。

昨年３月11日に発生した東日本大震災は、「助け合い」「ボランティア」「人と人の絆」といった人が生きていくうえで何が大事なのかをあらためて考えさせられました。私たちも、設立時のミッション、気持ちを大切に、活動の輪を少しずつでも広げていきたいと思います。

本年も、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

子育てを楽しく・安全に

無料　子育てサポートセミナー

子育てに必要な病気・怪我への対処法と危機管理、
そして、子どもの喜ぶ遊び方が学べます。

受講生募集
託児あり

日　時	2012年３月10日（土） 午前９時30分から16時30分
場　所	千葉市ビジネス支援センター 多目的室　Qぼーる15階
参加費	無料
定　員	千葉市在住の方　50名 （定員になり次第締め切ります）
受講条件	現在子育て中の方と、子育て支援ボランティアに興味のある方
問合せ	０４３－３０１－８３０９
申込先	ＮＰＯ法人子育て支援グループ 「ハミングちば」
締切日	2012年２月29日（水）～15時まで
主　催	子育て支援グループ「ハミングちば」
後　援	千葉市

時　間	カリキュラム	講　師
9:30～9:35	開会挨拶	
9:35～9:45	ハミングの紹介	
9:45～12:00	緊急時の病気・怪我の応急処置と危機管理	「こどもの城」 子育て電話相談員 看護師 山村　芙美子さん
12:00～12:45	休憩	
12:45～15:15	子どもとの接し方と子どもとの遊び（体験学習）	千葉市保育所 保育士
15:15～16:30	ハミング会員との交流 （日頃からボランティアのこと、子育ての悩みや疑問、考えていることなど一緒にかたりあいましょう） 閉会の挨拶	

2012年 迎春

安房地区

会長 小谷　栄

旧年中は、安房地区労福協に対しまして、加盟単組の皆様、そして千葉県労福協ならびに各地区労福協の皆様には大変お世話になり、心から御礼申し上げます。

さて昨年度は、日本全体を揺るがした未曽有の大震災がありました。政治の混迷や景気の低迷もあり、被災地の復興がなかなか進まない、日本にとっては大変厳しい年であったと実感しております。しかしそのような中で、人と人とのつながり「絆」の大切さがクローズアップされた年でもありました。地域の中で共に助け合うことを目指す労福協の充実が、今こそ必要であると感じております。

安房地区労福協といたしましては、今年度も福利厚生事業の推進を目指し、とりくみを行っていく所存でございます。

皆様方にとって本年が素晴らしき年となりますことをご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

市川・浦安地区

会長 小椋弘行

新年のご挨拶を申し上げます。

まずは昨年のことではありますが、3月11日の東日本大震災において命を落とされた方々にご冥福を、被災され苦難多き生活を強いられている方々にお見舞いを心より申し上げます。

当市川・浦安地区労福協の活動においても震災の影響を受けてきたところです。毎年恒例の大イベント「潮干狩り」が、会場の三番瀬狩場が震災により使用不可になってしまい、開催中止となりました。

そこで代替イベントとして、市川大野にある「アスレチック・ありのみ」においてファミリーレクを秋に開催しました。

初めての試みであり少々不安を抱えながらの開催でしたが、労福協幹事の皆さんの努力のもと傘下会員の皆さんのご協力により、300名を超える参加者で無事終了となりました。

昨年この場で申しました「行政の補助金削減・カット」「友誼団体の連合新総武地協との関わり方」等の課題において、本年は具体的な対応を示さなければなりません。

悩みの年でありますが、より良い方向に向けるため努力していかねばと思うところです。

匝瑳（そうさ）地区
（旧八日市場市）

会長 山﨑良夫

昨年の匝瑳市勤労者福祉協議会の活動は、3月11日の東日本大震災の復興支援活動と福島原発事故で飛散した放射能に関する取り組み、そして社会貢献活動としての清掃ボランティア活動の三つを精力的に取り組みました。

震災復興支援と現地視察を企画し、11月5～6日にかけて、義援金と物資を宮城県気仙沼と岩手県陸前田に届けました。これには14名が参加し、これからも息の長い支援の必要性を感じて帰ってきました。原発問題と私たちの暮らしを考えるセミナーを月一回のテンポで9月11日から延べ三回実施し、183名の市民が参加してくれました。

環境美化清掃ボランティア活動では、12月17日に役員と有志が参加し、八日市場駅周辺の清掃活動に汗を流しました。私たちは小規模な協議会ですが、今年も地域に働く人々のニーズを集め、地域の絆（社会連帯）を大事に、安心安全な街づくりに貢献したいと考えています。

野田地区

会長 芝崎琢巳

東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

昨年の未曽有の大震災は人々の命や生活にだけではなく、心にも大きな打撃を与えました。その復興の中であらためて人と人との絆の大切さを実感するところです。

昨年の野田地区労働者福祉協議会は、絆とコミュニケーションを醸成するイベントとしてはバスハイクやボウリング大会、ゴルフ大会などを開催し、多くの勤労者とその家族の皆さま方にご参加いただきました。

これからも、より多くの勤労者が参加しやすく、また野田地区の地域性を活かした上で、充実した時間を過ごすことのできる行事を企画していきたいと考えておりますので、皆さまからのご指導ご助言をいただきたいと存じます。

本年もよろしくお願いいたします。

地区労福協　年頭のご挨拶

銚子地区

会長 野口　勇

新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の干支（エト）はウサギ。穏やかに安心できる世の中であって欲しいと願っておりましたが多難な年となりました。地震・津波・原発事故、それに台風などによる記録的な大雨など。その中で特に甚大な被害をもたらした3・11東日本大地震、その被災地の復旧・復興が今年は一刻も早く進むことを願わずにはいられません。

さて今年の干支は辰（竜）。その竜にちなんだ四字熟語に「画竜点睛」があります。何か重要なポイントを欠いたために折角の苦心が水の泡になるという場合に用いられますが、震災の復興事業（被災地や被災者のニーズをつかむ）にしろ、私たちが進める労福協活動にしろ、「画竜点睛を欠く」とならぬような取り組みを私たちは進めなければならないと考えます。

当労福協は今年次なる活動を予定しております。

◇勤労者ボウリング大会（2月）
◇総会とセミナーの開催（5月）
◇歳末助け合い街頭募金（12月）

長生・茂原地区

会長 黒澤　一

新しい年がスタートしました。昨年は衝撃的な出来事があり、そして、円高、洪水など我々の生活環境や価値観が大きく変わった年でした。2012年も安心安全な明るい街づくりのために今何が出来るのか、また、やるべきことは何か、しっかりと活動して行きたいと思います。その為には地域社会との連携連帯、企業、各種産業のつながりが大事だと考え、様々な交流企画や支援活動を実施したいと思います。昨年来「絆」という言葉が頭から離れません。どのように表現していいのか判りませんが、みんなで協力することは大きな力になると思います。労福協の活動と重ねてみますと「絆」という文字で表現できるのではないでしょうか。地域密着型の活動が大きな力となり社会貢献できる。そして、それが様々な人の為になっている。長生・茂原地区として微力ではありますが「やってみる」ことで一歩進めるはずです。どうぞ本年も労福協へのご協力よろしくお願い致します。

千葉市地区

会長 三上光明

千葉市地区労福協は、千葉市を拠点として働く仲間のネットワークを大切にし、地域に根ざした取り組みをすすめています。

今、私たちを取り巻く環境は、昨年三月に発生した東日本大震災の復旧・復興を本格的に果たさなければならない中にあって、タイの洪水や欧州の経済危機などの影響から、勤労者にとって大変厳しい状況となっています。

こうした状況から一日も早く脱却して、地域の皆様と共に安全・安心して暮らせる社会が実現されることを願っています。

今年も第三五期活動方針に基づいて、福祉に関る講演やイベント等を企画し、諸活動の充実を図って行きたいと考えていますので、皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

八千代地区

会長 後藤道宣

新年のご挨拶を申し上げます。

年が明け昨年3月11日の東日本大震災よりもうすぐ一年がたとうとしておりますが、未だ被災地の復興にはまだまだ時間がかかると思われます。

被災された皆様にはお見舞い申し上げるとともに、一日も早く復興されることを心よりお祈りいたします。

さて、昨年の八千代地区労福協は、テニス大会のみの活動となってしまいましたが、今年は、昨年以上の行事を開催できる様に取り組んでいきたいと思います。

また、今年は皆様にとって幸多い年になるよう心よりお祈り申し上げます。

本年もどうかよろしくお願いいたします。

ZENROSAI NEWS

全労済千葉県本部
（千葉県勤労者共済生活協同組合）
千葉市中央区弁天1-17-1

新年のご挨拶

日頃の全労済の活動に
ご協力いただき
ありがとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしを目指しています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

お詫びと訂正

しあわせ12月号（vol.498）で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

誤

Education
受験料、入学金、授業料、
他の金融機関等の教育ローン借換え費用などに。
教育ローン

	団体会員の場合	団体会員以外の場合
10年以内でお借入れの方	年1.7%（※別途保証料年0.7%が左記金利に上乗せとなります。）	年2.2%（※別途保証料年1.2%が左記金利に上乗せとなります。）
10年を超えてお借入れの方	年1.7%（※別途保証料年0.7%が左記金利に上乗せとなります。）	年2.2%（※別途保証料年1.2%が左記金利に上乗せとなります。）

●最高1,000万円（団体会員以外は最高500万円）
●最長15年［教育ローンは、ご融資期間の範囲内で最長5年の据置期間が設定できます］●無担保 ●固定金利型

正

Education
受験料、入学金、授業料、
他の金融機関等の教育ローン借換え費用などに。
教育ローン

	団体会員の場合	団体会員以外の場合
10年以内でお借入れの方	年1.7%（※別途保証料年0.7%が左記金利に上乗せとなります。）	年2.2%（※別途保証料年1.2%が左記金利に上乗せとなります。）
10年を超えてお借入れの方	年2.2%（※別途保証料年0.7%が左記金利に上乗せとなります。）	年2.7%（※別途保証料年1.2%が左記金利に上乗せとなります。）

●最高1,000万円（団体会員以外は最高500万円）
●最長15年［教育ローンは、ご融資期間の範囲内で最長5年の据置期間が設定できます］●無担保 ●固定金利型

お問い合わせ・ご相談は　**中央労働金庫千葉県本部 TEL 043-251-5162**　平日（9:00～17:00）

もっとサポート ずっとサポート 中央ろうきん
中央労働金庫

しあわせ 499号 2012年1月
2012年1月発行（年7回発行）　発行／㈳千葉県労働者福祉協議会　http://www.rfk-chiba.net
千葉市中央区千葉港4番4号　千葉県労働者福祉センター内　TEL.043-241-6681　編集・印刷／㈱メロウリンク企画